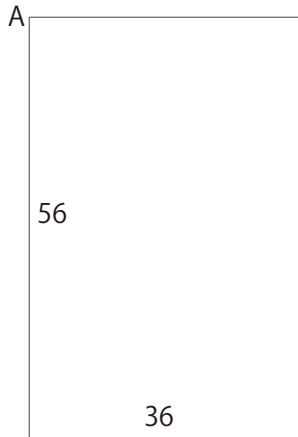


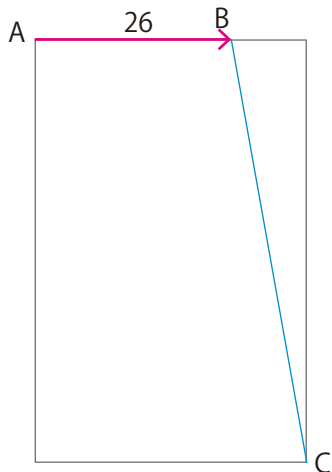
【後ろ身頃】

① 一番大きいガイド枠



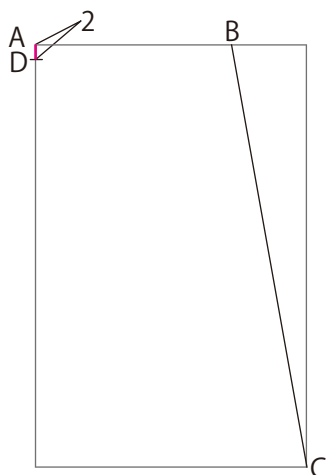
36×56cm の長方形を描きます。

② 脇線を引く



A から 26cm(B) のところに  
しるしを付けてから、B から  
C を結びます。

③ 部分型紙をトレースする

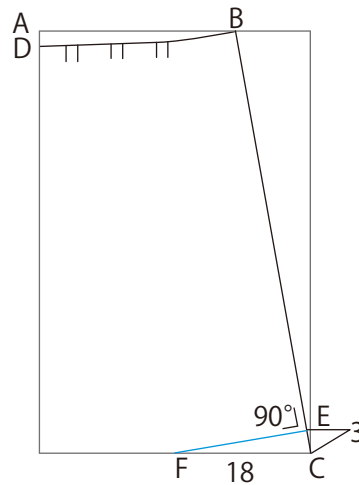


A から 2cm(D) のところに  
しるしを付けます。

D と B のしるしを目安にして、  
部分型紙をハترون紙の下に  
敷いてトレースします。

ループ付け位置のしるしも  
トレースしておきます。

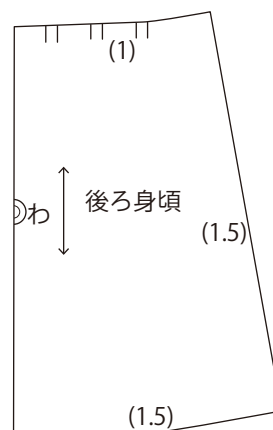
④ 裾線を引く



C から上方向に 3cm(E)、左に  
18cm(F) のところにしるしを  
付けてから、E と F を結びま  
す。

F 付近はゆるやかになるよう  
に線を整えます。

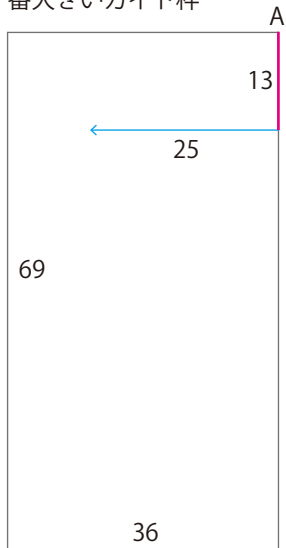
⑤ めいしろ幅としるしを書き込む



型紙を外周に沿ってカットし、  
「わ」のしるし、布目の向き、  
めいしろ幅、パーツの名前を  
書き込んで完成です。

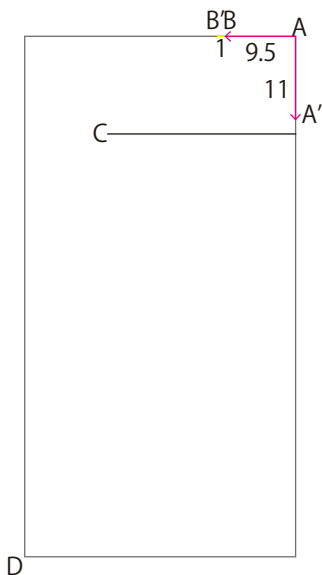
## 【前身頃】

### ①一番大きいガイド枠



36×69cmの長方形を描き、Aから13cmのところに25cmのガイド線を引きます。

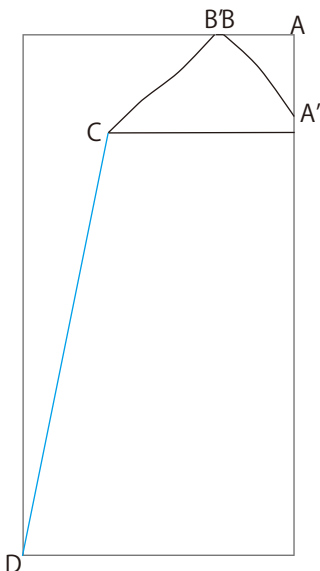
### ②V部分を描く準備



部分型紙を置く目安にするために、Aから左に9.5cm(B)、下に11cm(A')のところにしるしを付けます。Bは1cm左にB'を書きます。

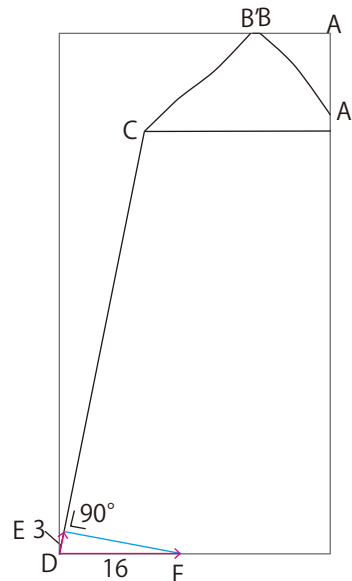
しるしに合わせて部分型紙を置き、トレースします。クロバーカーブ定規を使うと曲線部分もきれいにトレースできます。

### ③脇線を引く



CとDを結びます。

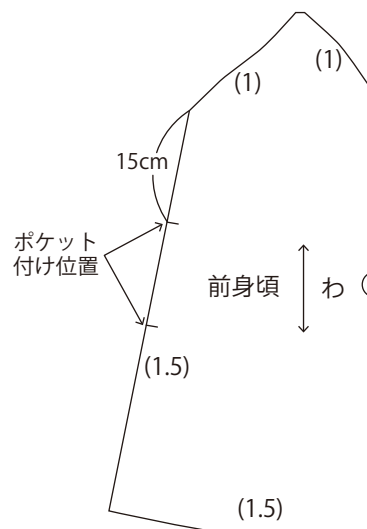
### ④裾線を引く



Dから上方向に3cm(E)、右に16cm(F)のところにしるしを付けてから、EとFを結びます。

F付近はゆるやかになるように線を整えます。

### ⑤ぬいしろ幅としるしを書き込む

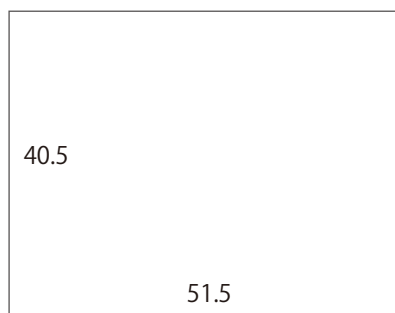


型紙を外周に沿ってカットし、「わ」のしるし、布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

ポケット付け位置は、指定の位置にポケットの型紙を置いて合わせます。

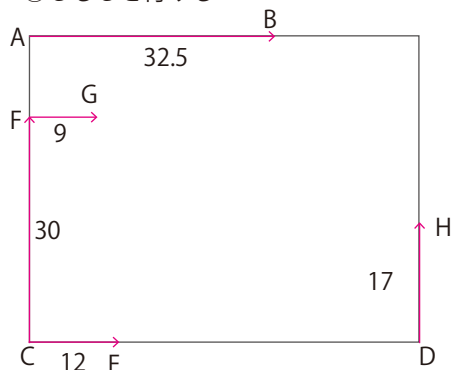
## 【スカート】

### ①一番大きいガイド枠



51.5×40.5cm の長方形を描きます。

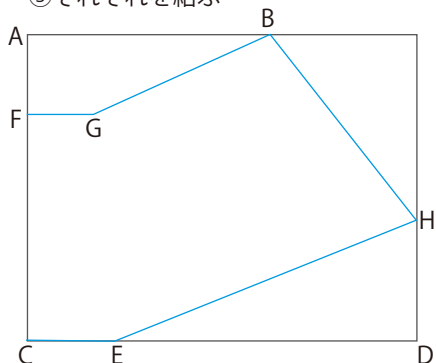
### ②しるしを付ける



- ・ A から 32.5cm(B)
- ・ C から上に 30cm(F)
- ・ F から右に 9cm(G)
- ・ C から右に 12cm(E)
- ・ D から上に 17cm(H)

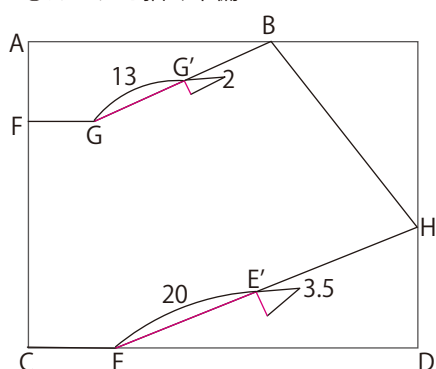
のところにしるしを付けます。

### ③それぞれを結ぶ



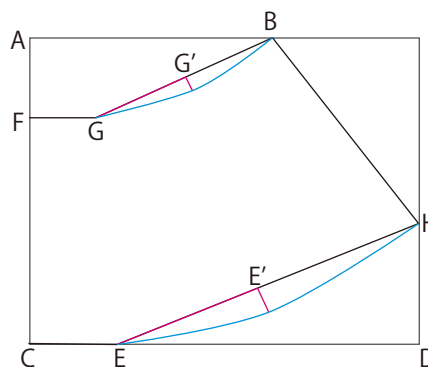
F→G→B→H→E のしるしを直線で結びます。

### ④カーブを描く準備



G から 13cm(G')、E から 20cm(E') のところにしるしを付けます。G' から直角に 2cm 下、E' から直角に 3.5cm 下に向かうしるしを付けます。

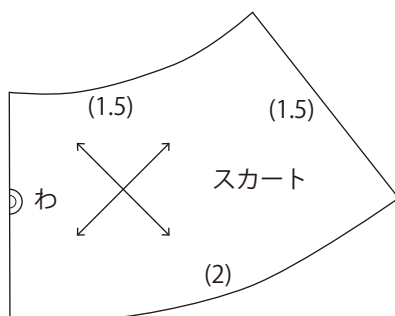
### ⑤カーブを描く



クロバーカーブ定規を使って、付けたしるしを通して曲線を描きます。

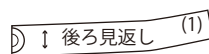
G と E 付近はゆるやかになるように線を整えます。

### ⑥ぬいしろ幅としるしを書き込む

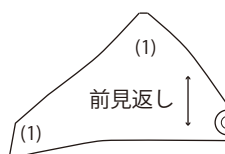


型紙を外周に沿ってカットし、「わ」のしるし、布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

## 【見返し】



製図に使った部分型紙をカットして、見返しの型紙にします。



型紙をカットし、「わ」のしるしと布目の向き、ぬいしろ幅、パーツの名前を書き込んで完成です。

## 【ポケット】

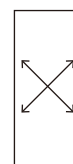
実物大型紙をカットして使います。

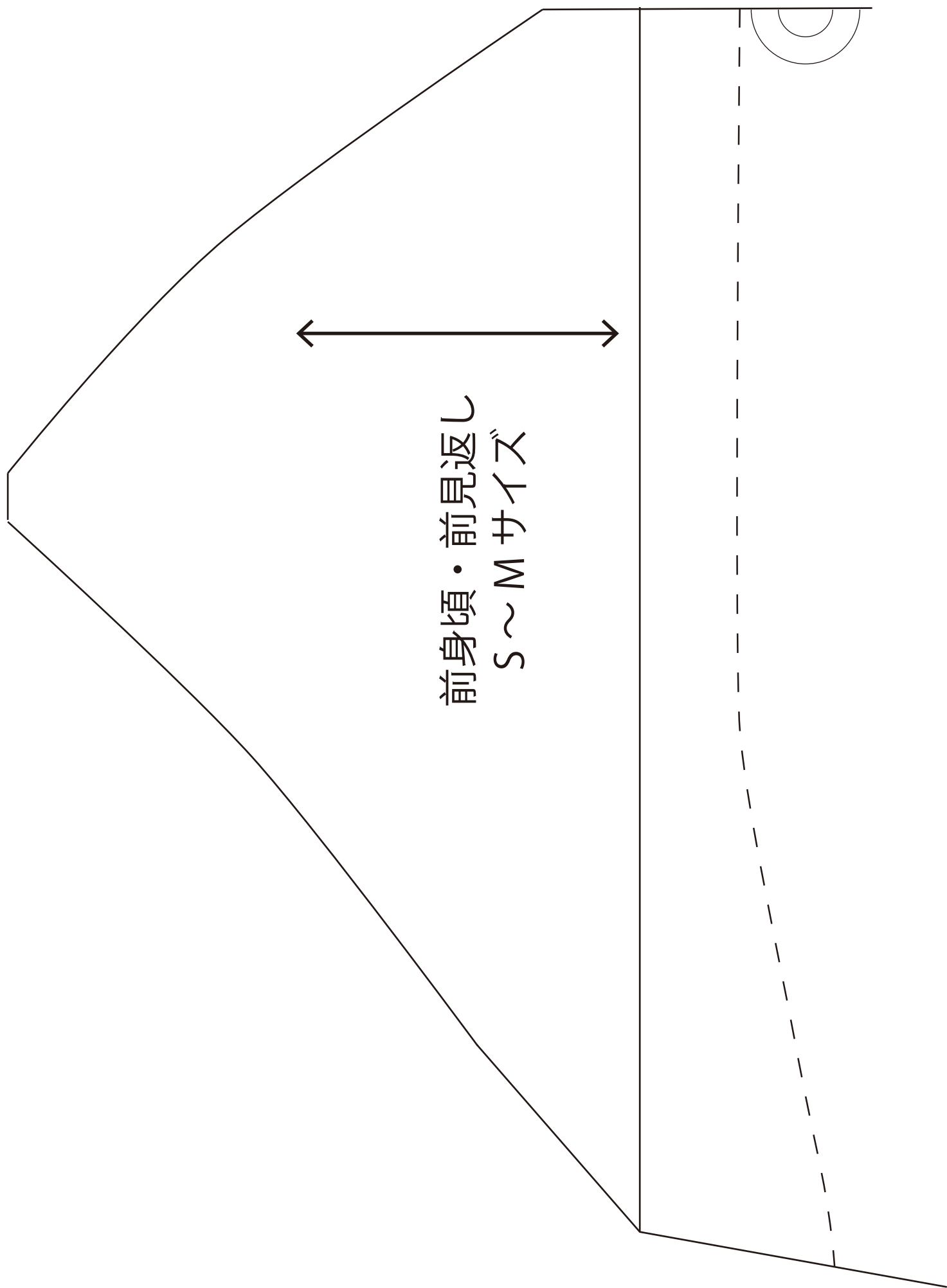
## 【ひも】

4×130cm の長方形を描きます。

## 【ループ】

方眼定規の 45° 線を使って、2.5×6cm の長方形を描きます。生地に直接製図します。





前身頃・前見返し  
S～Mサイズ

